

講義名	卒業研究		
講義コード	44407	授業形態	
担当教員	小笠原 宏	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
		サンパリング・コード	SEM440

学部・学科	演習分野
商学科	小笠原 宏ゼミ

概要説明

卒業研究（卒業論文）作成のための個別指導。対面面談だけでなく、適宜のオンライン面談（ズーム討議など）も並行実施。メール他多様なコミュニケーション手段を活用して、受講生の進捗度、都合に合わせて論文作成を指導する。また中間報告も適宜求める。時間制限数限定なし。まずは研究タイトルの設定、プロポーザル作成提出を、前期に行い、その後本稿作成に移る予定。途中臨機応変に対応予定の中間報告や相談を経て、最終稿の作成に進む。提出後は必要に応じて発表、修正の機会を与えるという本格的な論文執筆、研究学習の手法を身につけることを目指す。

主な卒業論文のタイトル

ネットワークビジネスの研究 中国自動車産業の考察
 POSの意義と将来性 サッカービジネスの将来性考察
 企業評価手法の研究 中古不動産流通市場の課題と将来展望
 COSTCOの事業戦略分析 イスラム保険制度の考察
 職業としてのキャンブラー等 多岐にわたる。
 財務、ファイナンス分野に限定するものではない。
 これらに加え、卒業論文として未完成ながら、華成果物として指導及び評価を行ったもの多数。

教員からの要望

就職活動を早々に結果をだして、卒論作成に進むことを想定して対応。レポート等の延長でない、きちんとした研究論文を作成してもらおう。就職後に論文の作成によって経験した作業、アプローチは非常に役に立つ。
 個別のテーマ設定から、途中原稿の見当を含めて、最終的に、学内だけでなく、論文コンテストなどにエントリーも可能なレベルの論文作成を目指す。（参考までに、安直やコピーもときさらには浅薄な議論程度のもを途中何の報告や書き直しなど無しで出すものが単位欲しさに提出するものがあるが、検収をうけて提出しても、その後改訂作業が及ばず結局合格できないものが増えている。単なる最後の単位稼ぎの科目でないので、甘い期待で受講しないこと。）

選考方法

評価方法

論文審査（作成への途中経過が重要なポイント）。途中の指導や報告などもなく、最後に論文（その類いの書き物）だけ出して基本的に通るものではないことを認識しておくこと。

教員英字氏名	研究室
Hiroshi Ogasawara	3411

最終学歴

慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得満期退学

学位

経営学修士(MBA)

主な研究活動・社会活動・研究業績

経営コンサルティング、経営アドバイザーも関係者からの依頼で実施中。

趣味・特技

ゴルフ クレー射撃 映画鑑賞 旅行 模型製作 他

所属

流通科学大学商学部

所属学会

金融学会 日本ファイナンス学会 経営財務研究学会 証券経済学会 行動経済学会

専門分野

経営財務 経営戦略 投資戦略 金融論 実験経済学 行動経済学

担当科目

生活金融論 ビジネス・ゲーム 財務戦略論 [A]および[B] ゲーミング演習(院修) 企業財務特論(院修) 課題演習(ファイナンス)(院修) 研究演習、卒業研究 ファイナンシャル・プランニング(隔年)、投資戦略論

備考

本格的に論文作成指導を、継続した対面指導で行う。最終稿までいられないケースもあるが、途中の議論、作業、リサーチが何より肝要であり重要な経験(訓練)であることを認識して欲しい。

実務経験の有無及び活用

外国銀行及びシンクタンク勤務経験があり、実業界、実務社会での要請や必要要件の理解認識を持っている。他大学への非常勤講師での出講経験有り。ほんとうの「実学」教育訓練の実践を目指している。